

第27回防衛問題セミナー実施概要

わが国の安全保障環境への対応と 沖縄基地負担の軽減に向けて



土本南関東防衛局長

南関東防衛局では、平成28年1月26日（火）、神奈川県横浜市の神奈川県民ホール小ホールにおいて、「第27回防衛問題セミナー」を開催しました。

今回のセミナーは、『わが国の安全保障環境への対応と沖縄基地負担の軽減に向けて』をテーマに、元防衛大臣で現在防衛大臣政策参与をされている、拓殖大学特任教授の森本敏先生を講師にお招きし、日本の安全保障はどのような問題を抱えているのか、そして日本南西方面、沖縄を含めてどのような戦略環境にあるのかについて話しをしていただきました。

まずは、主催者である土本南関東防衛局長から開会挨拶があり、引き続き、講演に入りました。

森本先生からは、わが国を取り巻く外交・安全保障上の課題として、日韓関係、ISILの拡大に対する関係国の対応、シリア対応やウクライナ情勢を抱えるロシアとアメリカとの関係、そして、南シナ海、東シナ海における中国の活動と、それが日本へ与える影響や沖縄の米軍基地の重要性について、聴講者が理解しやすいよう、ホワイトボードに地図を描きながら説明されました。

そして、沖縄の基地負担軽減については、沖縄に在日米軍施設の多くが集中していることは事実であり、沖縄にだけ負担をかけるのではなく、訓練移転などをはじめ、本土の皆様も等しく沖縄の負担を感じ、負い合うことによって、米軍の抑止機能を維持するための努力をする必要があるというお話がありました。

講演後、聴講者から「国際問題の要点が分かりやすく学べた」（50代女性）、「地図を使い、分かりやすく説明していただきよく理解出来た」（30代男性）、「抑止力の必要性が理解できた」（60代男性）という多くの感想が寄せられました。

